



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分りやすくお伝えします。 ㊟秘書課 ☎ 36-7117

今月のテーマ「市長への手紙」「要望書」「市政への提言」の対応について

一年を締めくくる今月は、市民の皆さんから寄せられた「市長への手紙」や「要望書」、「市政への提言」について、どのように捉え、取り扱っているかを報告します。私は要望書や市長への手紙が増えるのは、市政の運営にとっていいことだと考えています。市民が行政に自由に意見を言えるまちは、市民参加がしやすいまちであり、風通しのいい市政運営は人づくりにつながると考えるからです。

本年4～10月の7カ月間に「市長への手紙」は238通届きました。全ての手紙を私自身が読み、返信を望む方には、時間が掛かってもお返事を差し上げています。内容は多岐にわたり、特に行政サービスへの提案や改善を求めると意見が目立ちます。

例えば、島田市緑茶化計画の推進とお茶をPRするため、ごみ収集車を緑茶グリーンに塗装するご提案をいただきました。また、保育園の入園希望について「いつになったら受入通知が届くのか」というご質問には、申請や受入通知書発送時期が分かる年間スケジュール表を作成し、対象者に配布するよう改善しました。



塗装されたごみ収集車

このように建設的なご意見をいただく一方、行政に対する意見や職員の対応への苦情も寄せられます。毎月の件数や意見の内容、市の対応などは、インターネットで「島田市 市長への手紙」と検索すればご覧いただけます。

商工会議所など各種団体から寄せられる要望書は、受領時と市からの回答時に、意見交換をさせていただいています。「市内中小企業に対する業務発注率の維持向上について」など政策的な要望が主です。

自治会からの要望は、平成28年度は692件あり、道路改良や水路改修、道路照明設置などの要望が主で、そのうち対応できたものは全体の82%です。こちらは関係各課がチームを組んで現場を確認し、担当課と関係機関が連携して処理に当たっています。

ほかにも、個人的に寄せられる「市政への提言」があります。その多くは民間企業との比較において、生産性の向上、コスト削減、職員削減、さらに一点突破のまちづくりなどについてのご提案です。「市民サービスにおける生産性の改善が必要」「不採算部門はアウトソーシングを考えるべき」など、厳しいお言葉をいただいています。私はそうした意見を寄



商工会議所からの要望書の提出
せてくださる人たちに、現在の島田市の取り組みをもっと知っていただいた上で、改善のための意見を寄せてほしいと思います。地方創生の時代、行政も経営改善なくして明日はありません。ご提案の多くはすでに着手しています。また、たとえ不採算部門であっても、当市に住む全ての人々の安全安心な暮らしを守るために必要な事業があることを、ご理解いただきたいと思います。

「広報ひみ」から

姉妹都市である富山県氷見市から寄せられたイベント情報などをご紹介します。

氷見の冬の旬といえば、日本一のブランドともいわれる氷見のブリ。本格的なシーズンを迎え、氷見漁港はさらに活気づいています。この季節、富山湾を南下してくる脂ののったブリのおいしさは格別です。

懐石料理やブリしゃぶ、にぎりずしなどの本物の味を楽しんでいただける「ひみぶりフェア」が開催されています。ぜひ、この機会に氷見へお越しください。

期間／12月1日～2月下旬（ブリがなくなり次第終了。）

※氷見市内の民宿・旅館・飲食店が参加。フェア参加店なら、どこでもブリ料理を堪能できます。参加店の情報など、詳しくは問い合わせ先へお問い合わせください。

㊟（一社）氷見市観光協会

☎ 0766-74-5250

